

聴覚障がい者に対するスポーツ医科学支援



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科
トレーナー・スポーツコース 講師

津賀 裕喜 Tsuga Yuki

URL: [津帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

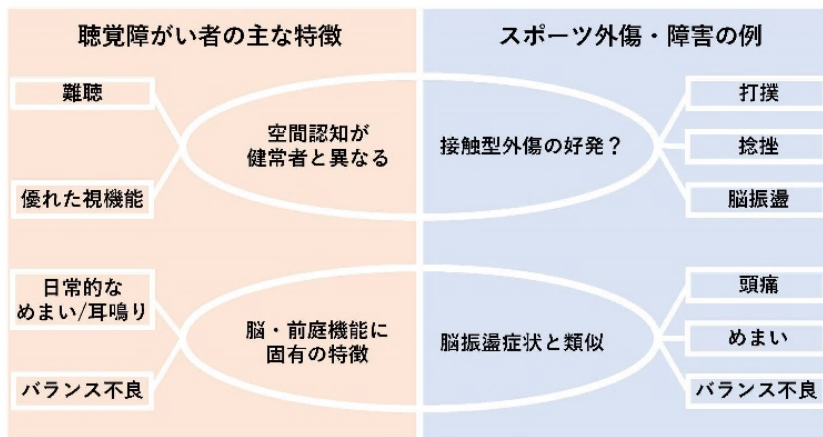


キーワード: スポーツ医学・スポーツ科学・アスレティックトレーニング・障がい者スポーツ・聴覚障がい者スポーツ

研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を

オリンピックと同時開催されるパラリンピックをはじめ、障がい者スポーツの注目度は高まってきている。しかし、障がい者スポーツの中でも、聴覚障がい者スポーツやデフリンピックに関する研究や支援は非常に少ない。聴覚障がい者はバランス能力を苦手としているが、光反応や動体視力が健常者よりも優れているなどの特徴がある。また、デフリンピックの競技ルールでは補聴器の装着は禁止されており、聴力を頼りにスポーツ活動ができない。これらの要因を踏まえると、聴覚障がい者は健常者と異なるスポーツ医科学的な特徴を有する可能性が考えられ、障害特性を配慮した支援体制の構築が求められる。我々は聴覚障がい者に対するスポーツ医科学支援を充実させるための外傷・障害調査、脳振盪関連機能の測定、フィットネスチェックなどを報告している。



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

聴覚障がい者スポーツにおける外傷・障害の予防やパフォーマンス向上のためのガイドライン作成を目指して研究を進めている。具体的にはフィットネスチェックや脳振盪ベースライン測定などを経て、コンディショニング方法の指導へと繋げていく。

これにより、デフリンピックをはじめとした聴覚障がい者スポーツにおける日本の国際競技力向上、聴覚障がい者のレクリエーションスポーツ支援を目指す。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【論文】

- 「第 19 回冬季デフリンピック大会におけるアルペンスノーボード競技のアスレティックトレーナー帯同報告」
- 「聴覚障がい者アスリートに対する脳振盪ベースライン測定-VOMS の実践例-」

【科研費】

- 「聴覚障がい者スポーツにおける前庭機能に着目した脳振盪評価方法の検討」